

仙台市産大豆を使ったコロッケが

一ガ一も950円で販売する。

市役所で6日に新商品発表会があ

誕生した。市とハンバーガー店「ハリーズジャングクション」(松島町)、

食品卸「かね久」(仙台市)が連携して開発。大豆の甘みと海鮮のうま味を詰め込んだ。

8日、市内のイベ

ント会場で販売がスタートする。

新商品名は「ハリーズ クラムチャウダーコロッケ」。甘さが特徴の大

豆「ミヤギシロメ」を使用し、ハリーズジャングクションの看板商品

のクラムチャウダーをイメージ。ア

サリがたっぷり入っているほか、ホタテとハマグリのエキスを配合し

た。

8、9日にせんだい農業園芸セン

ター(若林区)で開かれる「せんだい収穫まつり」を皮切りに、ハリーズジャングクションの店舗や仙台市内の姉妹店で10日から提供する。2個

で300円。コロッケを使用したバ

3月に開発に着手し、試行錯誤を重ねた。ハリーズジャングクションの佐藤賢将代表は「コロッケは手にとつてもらいやすい。幅広い世代に味わってほしい」と話した。

かね久の遠藤伸太郎社長は「地域の人に地元産の大豆の魅力を知つてもらい、将来的には首都圏に販路を求める『地産外消』につながればうれしい」と意気込んだ。

大豆コロッケの商品化は市産農作物を使った新商品開発事業の一環で、大豆の商品化はレトルトパックとジエラートに続き第3弾。

(藤原佳那)



仙台市産大豆を使用した「ハリーズ クラムチャウダーコロッケ」



新商品を開発したハリーズジャングクションの佐藤代表(中央)とかね久の遠藤社長(左)

身近な自然 色彩豊かに

仙台・あすまで作品展

日常を忘れ、風景に浸れる
時間がいい」と話した。
午前10時～午後6時(9
日は午後4時まで)。入場
無料。連絡先は事務局09
0(2362)7588。

身近な自然の風景を描く
「山野のスケッチ会」の作
品展が、仙台市青葉区の東
北電力グリーンプラザで開
催される。会場は、東北電力
館内。開催期間は、11月1日～11
月10日。

県内10詩人 作品を朗読

子理事長ら県内の会員10人が参加し自作の詩を発表する。前後半に分けて実施し、それぞれの終了後にミニ講演がある。

講演は白鳥省吾記念館

(栗原市)の佐藤吉一名督
館長と詩人会の佐々木洋一
会長。佐藤館長は首善の反

ミヤギシロメ+海鮮

仙台大豆コロッケ 本日デビュー 催して販売